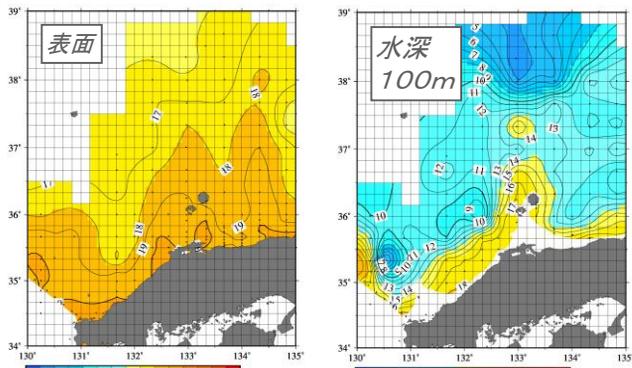
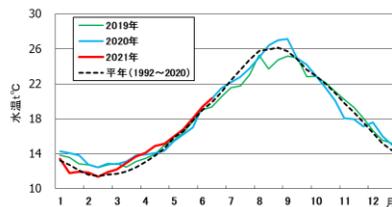




鳥取沿岸の水温

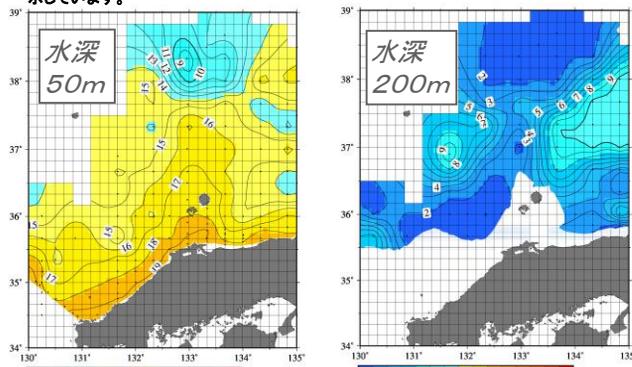
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

6月中旬 20.4℃
平年より 0.4℃高め



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域の水温は18～20℃で、平年(直近20年)並みの値を示しています。

水温は13～17℃を示し、平年並の値を示しています。



水温は16～19℃を示し、平年よりかなり高めの値(+1.2℃)を示しています。

鳥取県・兵庫県沖と鳥取県沖に8℃以上を示す暖水域があります。

6月上旬の水塊配置と対馬暖流

鳥取沖冷水域	・10℃以下の冷水域が山口県沖N35°10'以北、鳥取県沖N35°40'以北に認められます。
山陰・若狭沖冷水域	・10℃以下の冷水域が、隠岐諸島北方N37°40'以北に認められます。
その他暖水・冷水域	・14～15℃の暖水域が、隠岐諸島北方N37°20'付近に認められます。 ・14℃以下の冷水域が、山口県～鳥取県沖N34°50'～N35°50'以北、鳥取県沖N35°50'以北に認められます。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい、一部が山口県～鳥取県沖の14℃等温線に沿って北東へ向かい流れています。その後、鳥取県沖の14℃等温線に沿って東方に向かい流れています。また、隠岐諸島北方の暖水域周辺には時計回りの流れが認められます。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています。是非ご利用ください。

水産試験場

酒津沖沿岸潮流観測ブイが復活しました

R3年6月7日(月)に観測が停止した酒津沖沿岸潮流観測ブイ(新2号機:R2年度に購入し、設置)を6月13日(日)に回収し、6月16,17日(水、木)には、株式会社ゼニライトブイの技術者の方々に点検・修繕を行っていただきました。

開幸丸(浦富定置網)の皆さんのご協力に感謝



ゼニライトブイの点検の結果、不具合の原因は、潮流ブイ表面のソーラーパネルから充電池に電力を送るケーブルが削られたような形で断線したものとこと。悪さしたのは、右の漂流物(韓国のフロート付きロープ)。この漂流物が潮流ブイに絡み、運悪くロープがケーブルを横切る形となり、これが波浪により擦れ、断線したものと考えられます。



【お願い】潮流ブイに漂流物が掛かっている場合は、すぐに太田まで電話(0859-45-4500)してください。可能な場合は、撤去していただくトラブル回避に助かります。



ホース、ロープでケーブルを保護し、再発予防を実施
修繕した潮流ブイは、断線箇所の予防措置を行った後、6月23日(水)に再設置しました。漁業者の皆様にはご不便をおかけし、申し訳ありません。今後、トラブルがないことを祈るばかりです。

令和3年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

水産課

夏の味覚イワガキ、境港の大型クロマグロの水揚げがスタート!

6月1日にイワガキ、3日にクロマグロの初水揚げがありました。鳥取県内で漁獲された天然イワガキは「夏輝(なつき)」と呼ばれ良い評価を受けています。また、鳥取砂丘沖18m以深で採捕される、より大きなプレミアム夏輝「砂丘の管(ほまれ)」も2日から出荷が始まりました。卸売市場での初日の水揚げ量は1,046kg(前年1,425kg)、単価は917円/kg(前年初日697円/kg)でした。「今年は海水温が高めだったこともあり、初日から実入りが良い」と鳥取県漁協の山本さんから県政記者室でイワガキのPRを行いました。境漁港での3日のクロマグロ水揚げ量は15.3t、単価は2,650円/kg(前年初日2,700円/kg)でした。初セリにかけられた後、さっそく関西や首都圏へ出荷されました。現在(22日時点)の水揚げ平均体重は76kgと大型のものが多く、245kgの大型サイズも水揚げされています。Go To EatやWe Love山陰キャンペーンが8月末まで延長されるため、需要が高まることを期待します。

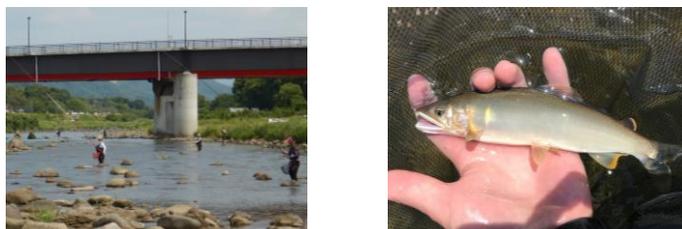


※「砂丘の管」の基準は胴周33.5cm以上としていましたが、今年より蓋長16cm以上の超大型で良型のものを選定して出荷しています。

栽培漁業センター

県内河川でアユ漁が解禁になりました!

6月1日(火)に県内河川(千代川の一部地域は15日解禁)のアユ漁が解禁になりました。このうち、日野川において解禁日のアユの釣れ具合等を聞き取りしたところ、下流域や中流域で比較的良好に釣れており、ほとんどが全長20cm前後の良型アユでした。釣り人からも「解禁日に20cm前後の大きなアユばかり釣れる年は珍しい」との、驚きの声聞かれました。県内河川では平成26年頃から、長らく天然アユの遡上数が激減していました。しかし、今年は日野川において3月中旬から5月下旬にかけて、まとまった数の遡上が確認されるなど、天然アユ復調の兆しが見えてきています。本格的なアユ釣りシーズンに向けて、好釣果が続くことを期待しています。



いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 前橋知之

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530